

# 2021

## データで見る 十日町地域消防



予防課長  
藤田直司

警防課長  
関谷嘉聖

消防署長  
高橋隆之

本部長  
(総務課長)  
山田秀和

### 救助 Rescue

平成23年度 十日町市防災訓練  
松代総合グラウンドにて



平成23年の十日町市・津南町の救助出動を含む災害出動件数は445件で、前年と比較して193件増となりました。救助出動の種別を見ると、その他出動が416件と多くなっています。これは、年明けの豪雪や、3月12日に発生した長野県北部地震、7月29日十日町市において県内観測史上最高（1時間降雨水量121ミリ）を記録した新潟・福島豪雨が発生したことによるものです。

## 猛威を振るった 自然災害



平成23年豪雪：火の見除雪の様子

（）内の数は平成22年の数値

種別	火災	交通事故	水難	捜索	その他	計
市町別						
十日町市	0	20	1	3	338	362
津南町	0	5	0	0	78	83
合計	0 (0)	25 (28)	1 (3)	3 (23)	416 (198)	445 (252)

その他には「自然災害」「機械事故」「警戒」、「調査」、「救急支援」が含まれます。



長野県北部地震：津南町辰ノ口土砂災害



平成23年新潟・福島豪雨：十日町市川原町水害

# 火災 Fire

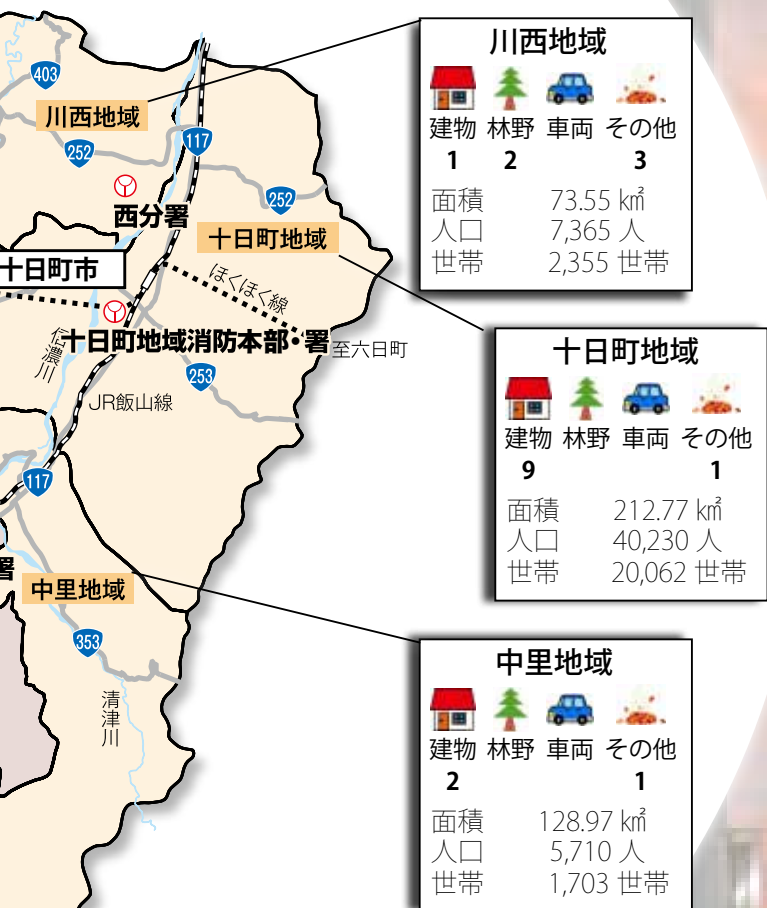
## 災発生状況

( ) 内の数は平成 22 年の数値

計	焼損棟数				死傷者数	
	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
26	7		13	6	1	7
21	4		12	5		7
1			1			
2	2				1	
1				1		
1	1					
3				3		
29	7	0	13	9	1	7
(20)	(3)	(2)	(5)	(10)	(2)	(9)

## 火災発生状況分布図

面積、人口、世帯数は 12 月 1 日数値



# 火災件数 28 件!

# 建物火災による死者なし 住警器の効果あり

平成 23 年中の十日町市・津南町の火災件数は 28 件で、過去 5 年間の平均件数と比較すると 5 件の減少となっています。しかし、前年と比較して 4 件増（建物火災は 5 件増）となりましたが、建物火災による死者はありませんでした。

平成 23 年 6 月 1 日から設置が義務化された住宅用火災警報器（以下住警器）は、住宅火災による犠牲者を減らす「切り札」と捉え、

各種イベントや住宅防火などで設置促進に努めてきました。平成 22 年 11 月調査では設置率 51% でしたが、23 年の同時期の調査では 80% を越える数値となりました。この効果もあり、住警器を設置していたことにより、火災に至らなかったケース、被害が最小限にとどまった事案が報告されています。

今後、住警器設置 100% を目標とし、「住宅火災による犠牲者ゼロ」を目指します。

## 過去 5 ヶ年死者数

年	死者数	建物火災による死者数
平成 19 年	1	1
平成 20 年	1	0
平成 21 年	0	0
平成 22 年	2	2
平成 23 年	1	0

## 住宅用火災警報器奏功事例

### 惨劇を救った「住警器」!

平成 23 年中

実録! 体験談

住宅用火災警報器により火災に至らなかった件数	2 件
住宅用火災警報器により火災の被害が軽減した件数	3 件

天ぷら鍋で料理をしている最中に来客があり、玄関先で話をしていました。

すると警報器の音が家の中から聞こえ、台所に行ってみると、天ぷら鍋から炎が火柱のように上がり、煙が充満していました。

もう少し気付くのが遅ければ私の家が燃えていたかもしれません…(津南町 60 代女性)





## 救急車の出動は 一日平均7.2件!

平成23年中の十日町市・津南町の救急出動状況は下表のとおりで、6年連続の増加となっております。搬送人員の約6割が65歳以上の高齢者であり、地域社会の高齢化を背景に今後も増加が予想されます。また、緊急を要しない軽症者の搬送が全体の3割を占めています。本当に必要な人のために救急車の適正利用をお願いします。

重症患者への対応として、救急救命士の処置拡大や市民によるAEDの使用により、心拍が再開し社会復帰する例も出ています。

今年10月からは「新潟県ドクターヘリ」の運航が開始されます。当地域で現在運用している「スポット型ドクターカー」と併せ、成果が期待されます。

※スポット型ドクターカーとは  
119番通報時に緊急度・重症度が高いと判断された場合、救急隊とは別の車両で十日町病院医師を現場に派遣するもので、平成21年1月より運用を開始しています。



その他には「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」が含まれます。管轄外の出動は長野県栄村秋山地区への出動

### 平成23年救急出動状況

( ) 内の数は平成22年の数値

種別	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	計
市町別						
十日町市	1,187	190	389	296	133	2,195
十日町地域	738	127	229	221	91	1,406
川西地域	153	19	53	21	12	258
中里地域	125	16	32	9	12	194
松代地域	65	15	37	37	9	163
松之山地域	106	13	38	8	9	174
津南町	220	30	73	75	13	411
管轄外	10	2	4	0	1	17
合計	1,417 (1,415)	222 (221)	466 (441)	371 (395)	147 (132)	2,623 (2,604)

### 救命のリレー



119 応急手当 AED 応急処置 救命医療

#### ■ バイスタンダー応急手当実施者数

	心肺停止 傷病者数	バイスタンダー 応急手当実施数	割合
平成23年	123	63	51%
過去5ヶ年平均	555	242	44%

#### ■ 119番通報から救急車が到着するまでの時間

平成23年中 平均 9分30秒



講習会の様子

### 普通救命講習会を 受講しましょう!

救命率向上にはバイスタンダーの応急手当が必要不可欠です。十日町地域消防本部は、十日町地域メデイカルコントロール協議会と連携しAED取り扱いを含む普通救命講習会を定期的に開催しています。

十日町市・津南町では、既に11,349名、地域人口の16%の人が受講しました。

「救える命」を救うため、ぜひ講習会に参加して心肺蘇生法を身につけましょう。

※バイスタンダーとは  
救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者など）のことです。救急車が到着するまでの間に、心肺蘇生法などの応急手当が救命率を大きく左右します。



累計受講者数11,349人  
人口の16%受講、目標は25%!